

Marco Gallery

佐宗乃梨子 × 長谷川寛示

Duo Exhibition

互 — Traces of Time and Body

2026.01.10 SAT - 02.08 SUN

営業時間：13:00-18:00

休廊日：月曜／火曜／祝日

水曜日は予約制

展示最終日のみ 17:00 閉館



STATEMENT

今回、長谷川寛示と佐宗乃梨子による二人展「互 - Traces of Time and Body」を開催する。

本展を通して、私たちは生と死、そしてそこに必ず現れる時間と身体のありように向き合うことになるだろう。

現代において、私たちと生や死との距離はどこか曖昧になってしまっている。その結果、時間や身体というものとも、知らず知らずのうちに隔たりを持つようになっていく。

長谷川は、丹念な観察を通して、花や植物を木彫へと置き換える。制作が進むあいだ、モチーフとなった花は次第に枯れていくが、木彫としての作品は完成へと向かう。そこには、植物の刹那的な美しさと儚さが、かたちを変えて留められていく。その関係性は、浪漫と呼ぶほかない瞬間を孕んでいる——それは、失われることを前提にしながらも、なお形を残そうとする人間の営みへのまなざしである。

長谷川は、自分自身が死んだ後も作品は残り続けると語る。花、木彫、そして作家自身のあいだには、過去から現在、未来へと時間が重なり合う関係が生まれている。そこには、生と死が断絶するものではなく、層のように積み重なっていく時間と、人の手が介在した痕跡が静かに刻まれている。

一方、佐宗は、幼少期の記憶を手がかりにしながら、ゾンビや神話といったフィクションを通して、私たちが生きている現実を映し出そうとする。彼女は、ガラスや鉄、ワックスといった素材を用い、ゾンビや神話的な裸体像などをモチーフとした作品群を制作している。

それらの作品は、ゾンビという存在を通して、死してなお生の痕跡を引きずる身体を想起させる一方、裸体や性交を捉えた像においては、新たな生の始まりと同時に、その先に不可避的に続く死の存在を意識させる。生と死は対立するものではなく、常に互いを内包しながら共存しているという感覚が、物語のように立ち上がってくるのである。

同時に、作品には、制作過程で生じる重力との拮抗関係や、作家が素材に直接接触することで生まれる指の痕跡が残されている。これらは、イメージとしてのフィクションに留まらず、身体を介した行為が確かにそこにあつたことを示しており、作品に強い現実感を与えている。

フィクションとノンフィクションが同居する佐宗の作品は、虚構を通してしか語り得ない、生と死の真実を私たちに突きつけようとしている。

本展において、長谷川は現実世界を、佐宗は空想世界をそれぞれの起点としながら、私たちにとって普遍的な命題である生と死、時間と身体の関係性に、あらためて触れるきっかけを与えるはずである。





佐宗乃梨子 Noriko Saso

佐宗乃梨子は1988年神奈川県生まれ。2014年東京藝術大学美術学部彫刻科卒業、21年同大学大学院美術研究科博士後期彫刻修了。東京を拠点に活動。ガラスや鉄などを素材に、指紋や指の形など手の痕跡が残るワックスを造形に用いて制作を行う。身体の物質性を主題とし、ゾンビや神話などのフィクションをモチーフにしたステンドグラスの作品シリーズ、ワイン瓶や色ガラスを素材としたレリーフや彫刻などを制作する。

主な展覧会歴（個展、グループ展、アートフェア、受賞歴、その他）

個展

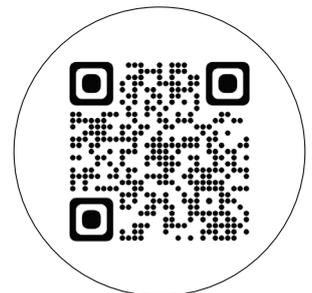
- 2023 Romantic Agony parcel 東京
- 2016 佐宗乃梨子個展 Gallery b. Tokyo 東京
- 2014 Holy Zombie Revival Gallery MARUHI 東京
- 2013 復活、または蘇生 やねうら画廊 茨城

グループ展、イベント

- 2024 MEET YOUR ART FESTIVAL（スタジオ航大）
AMATEUR vol.2 H BEAUTY & YOUTH
- 2023 EAST EAST（PARCEL） 科学技術館
- 2022 彫刻と家 旧平櫛田中邸
- 2015 Short Short Story-彫刻小作品展-
- 2014 藝大AM+香川 表現のチカラ 東京藝大セレクション

賞歴

- 2014 安宅賞
- 2016 台東区奨励賞





佐宗乃梨子
YUTOPIA
2020

ガラス、銅、半田、鉄、蛍光灯





佐宗乃梨子
Sleeping Faun with big phallus
2023
ガラス瓶



長谷川寛示 Kanji Hasegawa



photo by Ryuhei Yokoyama

1990 年生まれ、三重県在住。2014 年に東京藝術大学美術学部彫刻科卒業、2016 年に同大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。同年、曹洞宗の大本山永平寺での修行を経て僧侶となる。2024 年に還俗し、彫刻表現を通じて時間や歴史、文化の変容を探求する。儚さと普遍性を融合させた作品は、移ろう価値観や存在そのものの意味を問いかける。主な個展に「decay, remains」(2023、KANA KAWANISHI GALLERY、東京) など。グループ展に「Têmporas/ テンプラ KUROOBANACONDA #4」(2022 年、Sokyo Lisbon Gallery、ポルトガル)、「跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー」(2023、京都市京セラ美術館、京都)、「平衡世界 日本のアート、戦後から今日まで」(2023、大倉集古館、東京) など。

主な展覧会歴(個展、グループ展、アートフェア、受賞歴、その他)

- 2018 個展「ALLDAY TODAY」gallery HIROUMI (東京)
- 2019 個展「My Sûtra」KANA KAWANISHI gallery (東京)
- 2021 「Some kinda freedom」KANA KAWANISHI gallery (東京)
「土と木。左官と彫刻。」名古屋栄三越 Japanese gallery (名古屋)
「STORAGE」BLACK STORAGE FUJII DAIMARU (京都)
- 2022 「AS SEEN BY」Ba-tsu Art Gallery (東京)
「Têmporas/ テンプラ KUROOBANACONDA #4」Sokyo Lisbon (リスボン)
- 2023 「The Age of Not Believing」銀座 蔦屋書店 (東京)
「跳躍するつくり手たち」京都市京セラ美術館 (京都)
個展「now on the road」TENSHADAI (京都)
個展「decay,remains」KANA KAWANISHI gallery (東京)
「平衡世界 日本のアート、戦後から今日まで」大倉集古館 (東京)
- 2024 「AMTEUR vol3」H BEAUTY&YOUTH (東京)
「Gigs and Hobbies: The Everyday in Art Practice」WHAT CAFE (東京)
「SIGN by Acxyz Creativ」SHUTL (東京)
「Contemporary Manners」ART HUB NAGOYA (名古屋)
「Micro Salon」CADAN YURAKUCHO (東京)
- 2025 「Panoramic Room」Point of Parallel [by Marco Gallery] (大阪)
「和を以て景を綴る」WALL_alternative (東京)
個展「矩と不矩 | Two Temporalities」KANA KAWANISHI gallery (東京)
「The Space of Harmony – Inspired by MYAF2025」WALL_alternative (東京)

賞歴

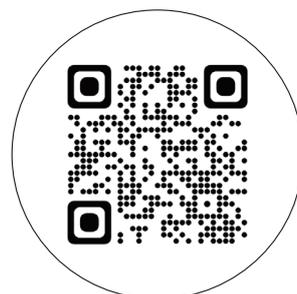
- 2012 前橋アートコンペライブ2012 秋元雄史賞受賞
- 2014 藝大アーツイン丸の内2014 三菱地所賞美術部門受賞
- 2019 sanwacompany Art Award / Art in The House 2019 ファイナリスト

コレクション

タグチアートコレクション

宮津大輔コレクション

UESHIMA MUSEUM COLLECTION





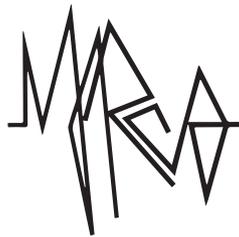
長谷川寛示
《Koka Kola》2019年 個人蔵
京都市京セラ美術館 特別展「跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、
デザイン、テクノロジー」展示風景
撮影：来田猛





長谷川寛示
《Koka Kola》2019年 個人蔵
京都市京セラ美術館 特別展「跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、
デザイン、テクノロジー」展示風景
撮影：来田猛





Marco Gallery

Opening Hours : 13:00–18:00

Closed : Monday / Tuesday / National Holidays

Wednesdays by appointment only

On the final day of the exhibition, closing time is 17:00

お問い合わせ : info@marcoart.gallery

大阪府大阪市中央区南船場 4-12-25 竹本ビル 1F,3F,4F

Takemoto BIDG 1F,3F,4F 4-12-25 Minamisenba Chuo-ku,

Osaka City, Osaka, Japan

Tel: +81 06-4708-7915 E-mail: info@marcoart.gallery

